

野外彫刻の被害状況

被害状況把握期間：

第1回野外彫刻プロムナード展開催（平成12年）から現在

資料作成：知立市都市計画課都市企画係

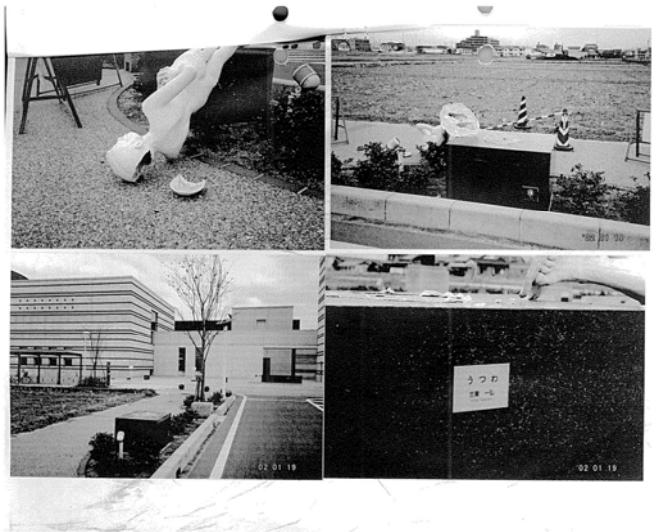
野外彫刻の被害の特徴

- 当初は、故意の破壊が主だったが、近年では、人為的な問題以外にも、耐久性の低い材質の作品が劣化して破損するケースも目立ってきている。
- 「ハジマリノカタチ」など、複数回被害を受けている作品もある。
- 彫刻被害が、マスコミによって報道されることにより、野外彫刻の存在を、広く知らしめることにもつながった。

「うつわ」 古賀 一弘

— 第2回野外彫刻プロムナード展出展作品 —

- 被害発生場所
知立市上重原町間瀬
口地内
- 被害発見日
平成14年1月19日
- 被害状況
取り付け部、作品の頭部
等を損傷



「起ち居」 伊藤由紀子

— 第3回野外彫刻プロムナード展出展作品 —

- 被害発生場所
知立市上重原町間瀬口
地内
- 被害発見日
平成15年6月25日
- 被害状況
転倒し
作品全体が損傷



「平等であること～かけっこ～」葉山亮三

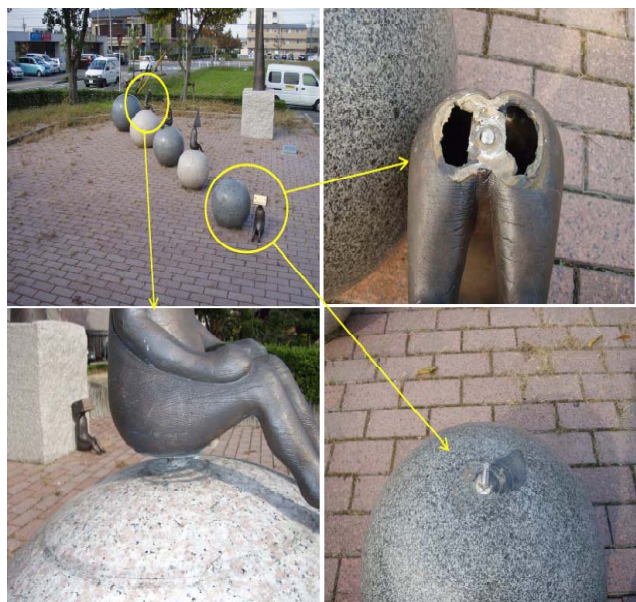
— 第6回野外彫刻プロムナード展出展作品 —

- 被害発生場所
知立市上重原町蔵福寺地内
- 被害発見日
平成18年1月15日
- 被害状況
3体のうち1体は、取り付け部や足・手部の一部、もぎ取られた反動で傾いていた。



「ハジマリノカタチ」 小島 雅生

- 被害発生場所
知立市東長篠二丁目地内
丁風公園内
- 被害発見日
平成20年11月2日
- 被害状況
ネジで留められていた取り付け部が壊され作品がはずされその場に放置。
- 設置者 知立第三土地区画整理事業事業者(知立市)



「夢心地」 各務喜子

— 第9回野外彫刻プロムナード展出展作品 —

- 被害発生場所

知立市上重原町間瀬口地内

- 被害発見日

平成20年11月25日

- 被害状況

知立市文化会館（パティオ池鯉鮒）施設内火の見やぐらの階段下で捨てられていた。



「Ants-V-集まるということ」森 有希

— 第9回野外彫刻プロムナード展出展作品 —

- 被害発生場所

知立市上重原町間瀬口地内

- 被害発見日

平成20年11月25日

- 被害状況

2体で1作品を構成をしているが、1体は、作品が設置してあった植栽の中、もう1体は、道路を挟んで向かい側の田んぼの中央あたりに捨てられていた。



「ハジマリノカタチ」 小島 雅生

- 被害発生場所
知立市東長篠二丁目地内
丁尻公園内
- 被害発見日
平成21年4月3日
- 被害状況
作品が6体で構成しているが
そのうち4体の彫像が取付
部が壊され、1対は、頭部、
手足部が破壊された。壊れ
た作品が見つからない。
- 設置者 知立第三土地区画
整理事業事業者(知立市)



「平成21年4月3日に持ち去られた「ハジマリノカタチ」が見つかった！」

平成21年4月17日(金)に市民より通報があり、パティオ池鯉鮒北側前面道路の歩道「実るおもい」の台座の下に4体は置かれ、半月の頭部は、横の植栽の中で発見した。



「ハジマリノカタチ」、再び壊される

- 被害発見日
平成22年12月22日
- 被害状況
「ハジマリノカタチ」の5体並んでいる内の真ん中の1体が、石の台座との固定部が破損しており、こびとの彫刻が取れてしまう状態となっていた。
- 経過
保険の適用を受け、平成23年6月15日に修理完了。



「水顔ーみずかほー」 江村和彦

- 被害発生場所
知立市南新地二丁目地内
- 被害発見日
平成23年5月25日
- 被害状況
陶器で作られた作品の底部が割れ、台座から外れている。背面の一部も割れている。
- 設置者 知立第三土地区画
整理事業事業者(知立市)
- 経過
暫定的に「Oh,I'm ココニール」を設置、目下再制作中。



「I saw 笑」 児嶋 佑紀

ー 第11回野外彫刻プロムナード展出展作品ー

- 被害発生場所
知立市上重原町間瀬口地内
- 被害発見日
平成23年7月6日
- 被害状況
耳がもげた状態になっていた。また風雨、日光により素材の風化が進んでいた。



「ゼロ」 関川 美有、「無題」 近藤 友貴

ー 第12回野外彫刻プロムナード展出展作品ー

- 被害発生場所
知立市上重原町間瀬口地内
- 被害発見日
平成24年1月13日
- 被害状況
人為的及び、風化により、作品の割れ、サビが発生していた。

